

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	251005	事務事業名	港湾振興事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI1 ひと・もの・情報が交流する	実施計画	×
	基本施策	VI13 港湾の整備	基本方向	国際物流拠点港として、国際競争力のある物流基盤の強化に努めるとともに、市民生活の安心・安全の確保や市民が集い・憩う空間の整備を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 港湾基盤の強化			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●バルク貨物などの輸送網拠点として、泊地・航路や荷役機械など港湾基盤の整備を推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【該当項目なし】 -%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ポータルラジオ局からの情報通信により、港湾内における航行等の安全性を確保するとともに、港湾施設の利便性を図る。また、国内外に徳山下松港をPRすることによって港湾物流の利用を促進し、港勢の発展と地域経済の活性化を図る。		意図(どういう状態にしたい): 国際拠点港湾徳山下松港の利用促進及び活性化が図られ、港湾利用者における船舶の航行に関する安全性と利便性を確保される。		事業の内容 (手段) 徳山下松港の港湾振興に関する一部負担を実施 ・徳山下松港ポートセールス推進協議会負担金、徳山下松港ポータルラジオ局運営費負担金	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●徳山下松港の港湾振興に関する各種負担 ・国内ポートセールスについて2回の専門委員会開催により検討 ・PR、記念品等広告宣伝資料の作成(徳山下松港紹介リーフレット、PRクリアファイル作成)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	4,807	4,799	4,785	4,682		4,700						
事業目標	目標名	徳山下松港取扱貨物量	計算式	取扱貨物実績量/計画取扱貨物量	単位	千トン	(予算額)	うち一財	千円	4,807	4,799	4,785	4,682	4,700
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,492	4,573		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	66,000.0	66,000.0	66,000.0	66,000.0	66,000.0	(決算額)	うち一財	千円	4,492	4,573			
	実績値	49,556.0	51,398.0	45,876.0			正職員人件費	千円	733	740				
	達成度(%)	75.1%	77.9%	70.0%			人工数	人	0.10	0.10	0.10			
							支出コスト	千円	決見) 5,225	決見) 5,313				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	徳山下松港ポートセールス推進協議会負担金 (経常的事務事業)	徳山下松港ポートセールス推進協議会	官民一体となつてのPRにより、徳山下松港の港湾物流の利用促進を図る	徳山下松港の利用促進を図り、港勢の発展と地域経済の活性化を図る	協議会の事業費の一部負担	正職員	臨時等	直接事業費		臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ●社会経済状況による変動はあるが、コンテナ貨物取扱量は前年と比較して微減している。					B	改善案	●県や企業との連携を強化し効果的な取組みを推進する。					
	②	徳山下松港ポータルラジオ局運営費負担金 (経常的事務事業)	徳山下松港ポータルラジオ局	徳山下松港湾内における船舶航行の安全性の確保と港湾施設の効率的な運用を図る	徳山下松港の利用促進を図り、港勢の発展と地域経済の活性化を図る	運営費の一部負担	0.05		3,657		否	否		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ●社会経済状況による変動はあるが、貨物取扱量は前年と比較して減少している。					B	改善案	●県や企業との連携を強化し効果的な取組みを推進する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④		細事業評価		改善案					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	徳山下松港は臨海工業地帯を支える工業港として重要な役割を果たしてきた。この間官民一体となって利用促進を図るための事業を展開してきた。現在、徳山下松港は工業港から総合的な機能を備えた港湾としての整備が進められている。こうした中で、一層の円滑で効率的な港湾運営を進め、さらなる港勢の発展を図るためにH26年3月に港湾計画が改定された。	前年度までの指摘事項	ポータルラジオ局の必要性は高いが、運営協議会のコスト削減を依頼するなど、負担金の適正化については、常に検証されたい。コンテナ貨物取扱量等は経済情勢に影響されるが、県や企業との連携を強化し効果的な取組みを続けられたい。	指摘事項に対する改善状況	ポータルラジオ局の設置・運営及びポートセールス事業は徳山下松港の利用促進を図るために不可欠である。運営負担金等については、事業実施内容、収支決算書等を精査する中で負担金の減額等に対応している。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点	●ポータルラジオ局の設置・運営及びポートセールス事業は徳山下松港の利用促進を図るために不可欠だが、社会経済状況にも影響されてか、港湾統計では取扱貨物量は減少している。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	徳山下松港の利用促進を図っていくための基幹をなす事務事業である。しかしながら合理的かつ効率的な事業運営が求められるもので実施方法やコスト等の見直し等について市として積極的に関与しながら継続していく。	改善案	運営負担金等については、事業実施内容、収支決算書等を精査する中で負担金の減額等に対応し、県や企業との連携を強化して徳山下松港の利用促進に効果的な取組みを推進する。
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	ポータルラジオ局は、国際拠点港湾の徳山下松港には必要なものであり、効率的な運営を働きかける。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	700901
分野	7産業・観光
基本施策	9産業基盤の整備
推進施策	(1)港湾基盤強化の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

ポータルラジオ局の運営及びポートセールスは、徳山下松港の利用促進のために不可欠な事業であり、効果的な事業として継続していく。平成27年から周南市長が中国地区港湾協議会会長に就任。会長として国際バルク戦略港湾の整備促進等の要望活動を行っていく。

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	251011	事務事業名	港湾建設県事業負担金(県債分)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI1 ひと・もの・情報が交流する	実施計画	×
	基本施策	VI13 港湾の整備	基本方向	国際物流拠点港として、国際競争力のある物流基盤の強化に努めるとともに、市民生活の安心・安全の確保や市民が集い・憩う空間の整備を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 港湾基盤の強化			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ●バルク貨物などの輸送網拠点として、泊地・航路や荷役機械など港湾基盤の整備を推進します。 ●循環型社会の形成を促進するため、環境にやさしい総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)の形成を推進します。 ●臨海部産業の効率的な物流機能の向上を図るため「臨海部産業エリア」の形成を推進します。 			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 山口県が実施する港湾建設事業の事業費の一部負担 意図(どういう状態にしたい): 徳山下松港の物流基盤の整備が進められることにより、地元企業の地域間や国際的な競争力の強化を図る。	事業の内容(手段)	県が実施する徳山下松港(徳山港区・新南陽港区)の港湾整備事業に係る一部負担を実施 ・晴海地区コンテナターミナル内: 荷役機械改良、用地舗装ほか ・晴海地区: 用地整備、舗装ほか ・港町地区: 上屋改修ほか			

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●県が実施する徳山下松港(徳山港区・新南陽港区)の港湾整備事業に係る一部負担を実施 ・晴海地区コンテナターミナル内: 荷役機械改良、用地舗装ほか ・晴海地区: 用地整備、舗装ほか ・港町地区: 上屋改修ほか						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	251,711	222,200	219,223	217,965		220,000						
事業目標	目標名	荷役機械点検更新実施率	計算式	計画荷役機械点検更新回数/点検実施回数	単位	回	(予算額)	うち一財	千円	48,984	35,172	0	16,841	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	250,511	221,350	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	(決算額)	うち一財	千円	63,483	16,792	県債分の負担金のため、毎年異なる。		
	実績値	2.0	2.0	2.0			正職員人件費	千円	2,198	2,810	0.26			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.30	0.38				
							支出コスト	千円	決) 252,709	決見) 224,160				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	港湾建設県事業負担金 (施設等整備事業)	山口県が実施する港湾建設事業	コンテナ貨物等の輸送拠点として港湾機能整備の推進を図り、地元企業の地域間や国際競争力の向上を図る。	国際物流ターミナルとしての基盤整備、環境整備の推進により、地域経済の活性化と雇用の創出を担う地元企業の地域間や国際競争力の向上を図る。	コンテナ貨物等の輸送拠点として、港湾機能施設の機能改修や改善等においては、計画的な事業展開が図られている。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.38		221,350	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	コンテナターミナルに整備されたコンテナ貨物の荷役機械の1号ガントリークレーンが平成3年で、2号ガントリークレーンは平成10年の整備であることから、機能施設の更新による、機能改修・改善及びコンテナ・ターミナルの再編やターミナル機能拡充の必要性が発生している。また、埠頭用地内における事業地に整備した上屋、用地舗装等においても施設の機能維持のため同様に、機能改修や改善の必要性が発生している。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点	

所管課評価					
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	港湾機能施設の機能改修及び環境改善等において県事業の進捗状況等を把握し、動向の早期収集に努め、効率的に事業を推進する。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 徳山下松港を国際物流ターミナルとして、地域産業の国際競争力の強化に資する港湾機能の整備を進める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700901
分野	7産業・観光
基本施策	9産業基盤の整備
推進施策	(1)港湾基盤強化の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
改訂された港湾計画を踏まえて、物流機能の強化・更新等の計画的な事業実施に向けて、引き続き山口県と調整を行い事業進捗を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	631045	事務事業名	海岸高潮対策県事業負担金	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VII ひと・もの・情報が交流する		実施計画	○	
	基本施策	VI13 港湾の整備	基本方向	国際物流拠点港として、国際競争力のある物流基盤の強化に努めるとともに、市民生活の安心・安全の確保や市民が集い・憩う空間の整備を推進します。		20年度市民評価の満足度		
	推進施策	(2) 港湾施設の改修				【該当項目なし】		-%
	推進施策の展開	●高潮対策や耐震強化岸壁の整備等を推進し、市民の安心・安全な生活環境を確保するとともに、市民が集い、楽しめる空間づくりを推進します。				25年度市民評価の満足度		
		【該当項目なし】		-				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 海岸保全区域内における海岸高潮対策事業によって、台風による高潮、越波や異常潮位による浸水被害から背後地を防護し、住民の生命・財産を守る。		意図(どういう状態にしたい): 海岸高潮対策として、護岸工(嵩上げ)の施工により、海岸保全区域内における高潮被害の防止し、区域内住民の安心・安全を確保する。		事業の内容 (手段)	山口県が実施する海岸高潮対策事業に係る一部負担を実施・大島本浦地区 護岸工 L=250m		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		●山口県が実施する海岸高潮対策事業に係る事業費の一部負担 ・Ⅱ期工事 護岸工(嵩上げ工)L=304m				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
【26年度】							直接事業費	千円	10,000	10,000	17,000	17,000	17,000	
							(予算額) うち一財	千円	1,000	1,000	1,700	1,700	1,700	
事業目標	目標名	護岸整備延長(単年度)	計算式	整備延長/整備予定	単位		m	直接事業費	千円	9,600	14,385		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	(決算額) うち一財	千円	1,000	1,485			
	目標値	50.0	150.0	150.0	150.0		150.0	正職員人件費	千円	440	222			
	実績値	190.0	183.0	304.0			人工数	人	0.06	0.03	0.04			
達成度(%)	380.0%	122.0%	202.7%			支出コスト	千円	決) 10,040	決見) 14,607					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	海岸高潮対策県事業負担金 (施設等整備事業)	山口県が実施する海岸高潮対策事業	高潮による浸水被害から、海岸保全区域内の背後地を守る。	事業進捗の向上による、計画区間の早期完成及び早期事業効果の発現。	Ⅱ期工事 護岸工(嵩上げ工)L=304m	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●現在実施中のⅡ期区間(L=1,636m)の事業進捗の向上による早期事業効果の発現。				A	改善案						
	②													
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	県が実施する大島地区本浦海岸における海岸高潮対策事業の一部負担金である。 全体計画延長L=3,290mの内、I期事業として1,654mが平成24年度に完了し、現在II期事業として残区間のL=1,636mに事業着手され、平成30年度を完了目標に事業が進められている。	前年度までの指摘事項	地域住民の安心・安全を確保するための事業として整備が計画どおり進められている。引き続き県、地元住民と連携して事業を進めていく。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	●東日本大地震や近年の異常気象などから、早期の事業完成と事業効果発現が求められている。		事業全体の課題・問題点	●海岸高潮対策事業における整備計画(事業効果)と、今後予想される南海トラフ巨大地震の被害想定との関連性を確認・認識する必要がある。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	海岸保全区域における高潮対策事業として、高潮被害から地域住民の生活拠点である背後地を防護する事業であり、今後も継続して県と連携して積極的に事業展開を図る。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 海岸保全区域における高潮に対する防災対策事業として、積極的に事業を推進する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
高潮被害から地域住民の安心・安全を確保するため、県と連携して早期の事業完成及び効果発現を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	014520	事務事業名	港湾管理一般事務費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VII ひと・もの・情報が交流する	実施計画	×
	基本施策	VI13 港湾の整備	基本方向	国際物流拠点港として、国際競争力のある物流基盤の強化に努めるとともに、市民生活の安心・安全の確保や市民が集い・憩う空間の整備を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 港湾施設の改修			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●高潮対策や耐震強化岸壁の整備等を推進し、市民の安心・安全な生活環境を確保するとともに、市民が集い、楽しめる空間づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
	【該当項目なし】 -%					
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 港湾施設や海岸保全施設の保守・維持管理によって地域住民の安全確保に努めるとともに、港湾事業の拡充を図るためにハード・ソフトの両面からの事務事業を推進する。	意図(どういう状態にしたい): 港湾施設及び海岸保全施設の適切な保守・維持管理により、施設利用者や地域住民に対して安心・安全を確保し、良好な環境を保持する。 加盟組織によって連携した活動により、港湾整備の推進と利用促進を効果的に展開する。	事業の内容 (手段)	港湾施設・海岸保全施設の保守管理:晴海緑地公園・榑ヶ浜船だまり・陸こうほか 港湾関係団体運営に係る一部負担を実施:全国市長会港湾都市協議会ほか5団体		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	●海岸保全施設(陸こう)の操作委託(陸こう 12件、樋門 1件) ●港湾関係団体運営費の一部負担(全国港湾都市協議会、日本港湾協会、周南清港会、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会) ●晴海緑地公園の維持管理 2件							直接事業費	千円	10,853	11,005	13,267	13,267	13,267
事業目標	目標名	高潮等海岸災害・港湾施設内事故件数	計算式	災害・事故件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	10,357	10,514	12,778	12,814	12,778
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	10,441	10,713		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(決算額)	うち一財	千円	9,962	10,222			
	実績値	0.0	0.0	0.0			正職員人件費	千円	1,392	4,437				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.19	0.60	0.64			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	海岸保全施設維持管理事業 (施設管理運営事業)	海岸保全施設 (陸こう 168箇所・ 樋門 1箇所)	豪雨高潮時における樋門・陸こうの操作・管理委託	豪雨高潮時に樋門・陸こうの管理を適正に行い、浸水等被害の防止・軽減を図る。	海岸保全施設の維持管理 (陸こう・樋門)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 防災上の観点からは必要不可欠で緊急を要する業務であるが、県からの委託金も低いことから、管理委託業者の選定に苦慮している状況である。				A	改善案	県や他部局等の委託状況等を調査し、適切な業務委託の検討を行いたい。					
	②	全国港湾都市協議会負担金 (経常的事務事業)	全国港湾都市協議会	加盟組織による連携した活動により、港湾整備の推進を図る。	徳山下松港の発展を直接的・間接的に推進して利用促進を効果的に図る。	運営費の一部負担			0.06	48	否	否		
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案							

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成 する細事業 【26年度実績】	③ 日本港湾協会負担金 (経常的事務事業)	日本港湾協会	加盟組織による連携した活動により、港湾整備の推進を図る。	徳山下松港の発展を直接的・間接的に推進して利用促進を効果的に図る。	運営費の一部負担	0.06		200	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価					
					A	改善案				
	④ 周南港湾研究会負担金 (経常的事務事業)	周南港湾研究会	徳山下松港内の航行船舶の安全・水面の公衆衛生の推進を図る。	徳山下松港の発展を直接的・間接的に推進して利用促進を効果的に図る。	運営費の一部負担	0.11		10	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価					
					A	改善案				
	⑤ 周南清港会負担金 (経常的事務事業)	周南清港会	徳山下松港内の航行船舶の安全・水面の公衆衛生の推進を図る。	徳山下松港の発展を直接的・間接的に推進して利用促進を効果的に図る。	運営費の一部負担	0.06		1,302	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価					
					A	改善案				
	⑥ 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会負担金 (経常的事務事業)	瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会	加盟組織による連携した活動により、港湾整備の推進を図る。	徳山下松港の発展を直接的・間接的に推進して利用促進を効果的に図る。	運営費の一部負担	0.01		60	否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
				A	改善案					
⑦ 晴海緑地公園維持管理事業 (施設管理運営事業)	晴海緑地公園利用者	晴海緑地公園の適切な維持管理によって、市民への快適な憩いの場を提供する。	適切な維持管理により、市民の憩いの場やイベントの開催の場として、提供することが出来る。	晴海緑地公園維持管理委託	0.18		6,660	否	否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他			細事業評価						
	●各種イベントでの利用や市民の憩いの場として幅広く利用されているが、トイレや公園施設の修繕や維持補修などの費用が増加している。			A	改善案	●県からの指定管理として維持管理を行っているが、大規模な補修等は県とも協議しながら、適正な維持管理に努めている。				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	港湾施設の維持修繕や施設・区域内の環境保全に特化した業務から、国際拠点港湾徳山下松港を擁する市として、港勢のさらなる発展を期するために各種団体との連携強化を図り、港湾事業を展開することへと事業環境が変動している。	前年度までの指摘事項	維持管理経費の縮減、各種団体の事業内容の検証を図りながらも、港湾区域内の安全と環境保全の確保に努め、各種団体等と諸活動を積極的に展開し事業を推進していく。	指摘事項に対する改善状況	晴海緑地公園に係る維持管理費等が事業費の大部分を占める。晴海緑地公園は、市民に親しまれる憩いの空間として、また近年では多くのイベント等も実施されるなど、臨海部の交流拠点として利活用されている。こうした中で良好な利活用環境を維持していく。
	細事業の課題・問題点	●施設の老朽化に伴い、今後、維持管理費の増加が見込まれるが、県と協議・調整を図りながら計画的に施設の維持補修をしていく必要がある。	事業全体の課題・問題点	●各種団体の事業内容の検証を図りながらも、港湾区域内の安全と環境保全の確保に努め、臨海部の交流拠点として利活用されている晴海緑地公園の良好な利活用環境を促進していく必要がある。		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	日本港湾協会等と連携し、国際拠点港湾徳山下松港の整備を推進していく。 また、港湾区域内の安全と環境保全の確保に努め、臨海部の交流拠点として利活用されている晴海緑地公園の良好な利活用環境を維持している。	改善案	
----	---	---	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	日本港湾協会外の団体と連携し、港湾施設の整備を推進する。
----	---	------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	700901
分野	7産業・観光
基本施策	9産業基盤の整備
推進施策	(1)港湾基盤強化の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

港湾区域内の安全と晴海緑地公園の良好な環境を保全するため、適切かつ効果的な維持管理を実施する。 日本港湾協会外の港湾関係団体と連携して、港湾施設整備の進捗を図る。
--

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	251008	事務事業名	港湾建設事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VII ひと・もの・情報が交流する	実施計画	○
	基本施策	VI13 港湾の整備	基本方向	国際物流拠点港として、国際競争力のある物流基盤の強化に努めるとともに、市民生活の安心・安全の確保や市民が集い・憩う空間の整備を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 港湾施設の改修			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●高潮対策や耐震強化岸壁の整備等を推進し、市民の安心・安全な生活環境を確保するとともに、市民が集い、楽しめる空間づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【該当項目なし】 -%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 港湾内における航行船舶等の安全性を確保し、港湾施設の機能の保持を図る。	意図(どういう状態にしたい): 港湾施設の適切な維持・補修工事によって、施設利用者の安全性の向上を図る。	事業の内容 (手段)	港湾施設の整備を実施 (櫛ヶ浜離岸堤管理橋補修・櫛ヶ浜港外灯補修ほか)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●港湾施設整備 ・晴海緑地公園看板設置工事 看板背設置 3箇所 ・徳山下松港航路標識灯改修工事 航路標識灯バッテリー交換 5基 ・櫛ヶ浜港照明灯立替工事 照明灯立替 1基 ・港町浮棧橋維持工事 マンホール補修 1箇所						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,775	2,020										
事業目標	目標名	修繕が必要な箇所への対応	計算式	修繕件数/修繕予定件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	1,775	2,020			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,667	2,170		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	(決算額)	うち一財	千円	1,667	2,170			
	実績値	3.0	3.0	4.0			正職員人件費	千円	659	1,035				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	133.3%			人工数	人	0.09	0.14				
							支出コスト	千円	決) 2,326	決見) 3,205				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	港湾施設整備工事 (施設等整備事業)	港湾内航行船舶及び港湾施設利用者	港湾内における航行等の安全性を確保し、棧橋等港湾施設の機能の保持を図る。	港湾施設の機能・安全性の確保を図る	・晴海緑地公園看板設置工事 ・徳山下松港航路標識灯改修工事 ・櫛ヶ浜港照明灯立替工事 ・港町浮棧橋維持工事	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.14		2,170	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ●老朽化や劣化により、維持管理費の増加とともに、抜本的な施設改修の必要性も増している。					B	改善案	●計画的且つ予防保全的な維持管理を進める。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	全般的に経年劣化により施設の老朽化が進んでいる中で特に浮桟橋や渡橋施設については老朽化が著しく、利用関係者などからは維持修繕や施設改修が強く望まれている。	前年度までの指摘事項	費用対効果、維持管理経費の削減等を考慮しながらも港湾施設利用者及び船舶関係者の利便性と安全性を確保という所期の目的を果たしうる維持管理計画を策定し事業を実施していく。	指摘事項に対する改善状況	市が管理する港湾施設は、建設後相当の期間が経過し経年劣化が著しく、施設管理者として利便者の安全と利便性を確保するため、計画的且つ効果的に施設の補修を実施していく。
	細事業の課題・問題点	●今後も老朽化は進行することから、施設点検・調査に基づいて維持管理計画を策定し、優先順位のもとに維持管理を実施する必要がある。		事業全体の課題・問題点	●港湾施設全般において、発生対応型から予防保全型へと施設管理手法の転換を図り、効果的且つ効率的な施設管理・更新整備を行う必要がある。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等を見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	予防保全的な維持管理を進める中で、港湾施設利用者や船舶関係者の利便性や安全性の確保を目的として、適切な港湾施設整備を実施する。	改善案	港湾施設の港湾施設利用者や船舶関係者の利便性や安全性を確保し、計画的に施設の維持管理を実施していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	予防保全的な維持管理計画を策定し、適切な機能維持を実施する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700901
分野	7産業・観光
基本施策	9産業基盤の整備
推進施策	(1)港湾基盤強化の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度より港湾管理一般事務費に統合。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	251012	事務事業名	港湾整備県事業負担金(現年分)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VII ひと・もの・情報が交流する	実施計画	○
	基本施策	VI13 港湾の整備	基本方向	国際物流拠点港として、国際競争力のある物流基盤の強化に努めるとともに、市民生活の安心・安全の確保や市民が集い、憩う空間の整備を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 港湾施設の改修			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●高潮対策や耐震強化岸壁の整備等を推進し、市民の安心・安全な生活環境を確保するとともに、市民が集い、楽しめる空間づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【該当項目なし】 -%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 港湾改修、海岸防災事業等を促進し、大規模災害時の緊急物流拠点としての機能確保と護岸改良や排水機場の改修等を進める。		意図(どういう状態にしたい): 徳山下松港における港湾施設の改良や延命化対策により施設利用者及び海上輸送の安全性や効率性を、海岸高潮対策の実施により海岸沿岸部の高潮被害防止を図る。 また、港湾の整備促進によって、周南コンビナートの国際競争力の強化と周南市の活性化を図る。		事業の内容 (手段) 県が実施する徳山下松港(徳山港区・新南陽港区)の港湾建設(修築)事業に係る一部負担を実施 ・港湾改修:官民連携基盤整備推進調査 ・港湾施設改良:築港可動橋改良 ・海岸高潮対策:徳山護岸、給島護岸設計 ・単独港湾:泊地浚渫、N6係留施設設計	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●県が実施する徳山下松港(徳山港区・新南陽港区)の港湾建設(修築)事業に係る一部負担を実施 ・港湾改修:官民連携基盤整備推進調査 ・港湾施設改良:築港可動橋改良 ・海岸高潮対策:徳山護岸、給島護岸設計 ・単独港湾:泊地浚渫、N6係留施設設計						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	直接事業費	千円	119,978	94,720	59,000	79,170		59,000									
事業目標	目標名	徳山・新南陽港区整備事業数				計算式	現年実施事業数/計画事業数	単位	件	事業費	(予算額) うち一財	千円	50,478	56,920	0	30,470	28,000
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	34,039		33,087	対27年度増減理由		対28年度増減理由			
	目標値	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0		(決算額) うち一財	千円		19,739	14,387	県事業費の増額による。				
	実績値	10.0	8.0	8.0				正職員人件費	千円		2,564	2,292					
	達成度(%)	125.0%	100.0%	100.0%				人工数	人		0.35	0.31	0.38				
						支出コスト	千円	決) 36,603	決見) 35,379								
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	港湾県事業負担金 (施設等整備事業)	山口県が実施する港湾整備事業		耐震強化岸壁への改修による海上輸送拠点としての整備・機能確保や海岸高潮対策を推進する。		国際物流拠点港としての物流基盤の強化や防災拠点の強化としての機能確保や海岸高潮対策による沿岸部の被害防止を推進する。		県の港湾及び海岸整備計画に基づき、計画的な事業進捗が図られている。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●港湾施設整備・改修事業や海岸高潮対策事業においては、社会経済活動による港湾施設利用者や市民へ対し、安心・安全のための施設機能の確保を優先した事業計画として推進する必要がある。										A	改善案				
	②																
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他											改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	徳山下松港は平成23年5月に国際バルク戦略港湾として選定を受け、平成23年度から港湾計画改訂作業に着手され、平成26年3月に改訂され、国際物流ターミナル整備としての港湾基盤の強化が進められている。	前年度までの指摘事項	現在港湾計画の見直しが進められており、県事業の実施量が単年度の市の財政に大きく影響する可能性があるため、事業に係る情報の収集に努め効率的な実施に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	事業の実施量により単年度の財源に大きく影響されるが、当該年度の事業内容の把握が後手になっているため、事業に係る早期情報の提供、事前協議・調整ができる体制づくりについて、県と協議を図っている。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	事業の進捗状況の把握や改訂された港湾計画に基づき、事業実施においては選択と集中のもと優先順位をもって中・長期の視点で計画的な事業展開を図って行く。併せて、高潮被害から背後地を防護するため、今後も継続して積極的に海岸高潮対策事業を推進する。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	A	改訂された港湾計画を踏まえて、産業基盤を踏まえた港湾機能の強化に資する本市の港湾整備方針を整備事業に反映する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700901
分野	7産業・観光
基本施策	9産業基盤の整備
推進施策	(1)港湾基盤強化の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
徳山下松港の港湾施設の機能確保・強化・改善等を図るため、改訂された港湾計画を踏まえて、県と連携して港湾施設整備・施設改修事業や海岸高潮対策事業等を進める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	251090	事務事業名	地域の元気臨時交付金事業費(港湾施設整備事業費)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VII ひと・もの・情報が交流する	実施計画	○
	基本施策	VI13 港湾の整備	基本方向	国際物流拠点港として、国際競争力のある物流基盤の強化に努めるとともに、市民生活の安心・安全の確保や市民が集い・憩う空間の整備を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 港湾施設の改修			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●高潮対策や耐震強化岸壁の整備等を推進し、市民の安心・安全な生活環境を確保するとともに、市民が集い、楽しめる空間づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【該当項目なし】 -%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 榊ヶ浜港内にある西浮棧橋の機能保持を図る。	意図(どういう状態にしたい): 榊ヶ浜地区の西浮棧橋は、築造後相当年数が経過し、老朽化に加え腐食や疲労破損も発生していることから、ドック入りによる全面的な整備・改修を行い、利用者の安全性の確保と施設の長寿命化を図る。	事業の内容 (手段)	老朽化や劣化により施設機能が低下している港湾施設の改修事業を実施 (榊ヶ浜地区西浮棧橋改修 L=12.0m W=6.0m H=1.0m)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●港湾施設整備工事 ・榊ヶ浜地区浮棧橋長寿命化工事(西浮棧橋 L=12.0m W=6.0m H=1.0m)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	25,441	23,605										
事業目標	目標名	整備件数	計算式	実施件数/計画件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	8,941	3,605			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	30,372	29,748		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	1.0	—	—	(決算額)	うち一財	千円	6,172	9,748			
	実績値	—	—	1.0			正職員人件費	千円	879	1,257				
	達成度(%)			100.0%			人工数	人	0.12	0.17				
							支出コスト	千円	決) 31,251	決見) 31,005				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	港湾施設整備工事 (施設等整備事業)	榊ヶ浜地区西浮棧橋	浮棧橋長寿命化工事を行い、施設の維持管理を行う。	利用者の安心・安全の確保、施設機能の早期復旧を図る	榊ヶ浜地区西浮棧橋長寿命化工事	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.17		29,748	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●老朽化及び劣化した浮棧橋の早急な改修要望があり、安心・安全が求められている。					A	改善案						
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
						改善案							
④													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
						改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	経年劣化による施設の老朽化が進んでいる。特に浮棧橋は建設後相当年数が経過していることから、傷みが激しい状況である。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	●老朽化した浮棧橋の詳細な状態を確認することが困難であり、想定外の補修も必要となっている状況である。	事業全体の課題・問題点	●浮棧橋は建設後相当年数が経っており、定期的なメンテナンスにより施設管理・更新整備を行う必要がある。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	港湾施設の利用者や船舶関係者の安全を確保するため、適切な港湾施設の整備を実施する。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適切な施設の整備・改修により、港湾施設の長寿命化を図る。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700901
分野	7産業・観光
基本施策	9産業基盤の整備
推進施策	(1)港湾基盤強化の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
地域の元気臨時交付金事業は平成26年度をもって終了。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	973508	事務事業名	公共土木施設災害復旧事業費(現年補助)	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VII ひと・もの・情報が交流する	実施計画	×
	基本施策	VI13 港湾の整備	基本方向	国際物流拠点港として、国際競争力のある物流基盤の強化に努めるとともに、市民生活の安心・安全の確保や市民が集い、憩う空間の整備を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 港湾施設の改修			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●高潮対策や耐震強化岸壁の整備等を推進し、市民の安心・安全な生活環境を確保するとともに、市民が集い、楽しめる空間づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【該当項目なし】 -%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 公共土木施設の災害を補助対象事業として復旧実施する。	意図(どういう状態にしたい): 災害発生時において、補助災害復旧事業として、迅速かつ早期の復旧を図り、市民の安心・安全を確保する。	事業の内容 (手段)	補助対象となる公共土木施設の災害復旧を実施 ・公共土木施設災害復旧工事		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	●道路災害復旧工事 2件 ●河川災害復旧工事 4件 ●道路災害復旧工事 2件(繰越明許費)								直接事業費	千円	45,550	45,550	45,550	45,550
事業目標	目標名	発生現年度災害復旧状況	計算式	復旧箇所数/災害箇所数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	635	635	635	635	635
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	35,689	36,263				
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額)	うち一財	千円	3,847	4,494			
	実績値	100.0	100.0	100.0			正職員人件費	千円	4,249	4,955				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.58	0.67	0.84			
							支出コスト	千円	決) 39,938	決見) 41,218				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 現年補助災害復旧工事 (施設等整備事業)		市が管理する公共土木施設の災害箇所	災害発生時において、迅速かつ適切な措置を講じ、市民の安全の確保し、被害の拡大防止を図る。	市民の安心・安全の確保、被害の拡大防止、施設機能の早期復旧を図る。	道路災害復旧工事 2件 河川災害復旧工事 4件	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
							A	改善案						
	② 現年補助災害復旧工事 (繰越明許費) (施設等整備事業)		市が管理する公共土木施設の災害箇所	災害発生時において、迅速かつ適切な措置を講じ、市民の安全の確保し、被害の拡大防止を図る。	市民の安心・安全の確保、被害の拡大防止、施設機能の早期復旧を図る。	道路災害復旧工事 2件	0.05		18,821	否	否			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
						A	改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	近年の局地的豪雨の顕在化に伴い本市においても豪雨災害が多発している。 こうした中で、補助災害の採択基準も年々厳しさを増しており、特に査定においては通常の適切な維持管理の状況や、復旧における経済効果が重要視されている。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	●査定申請時に未計上の工種は、実施において単独費対応となることから、精査した査定設計書の作成が必要である。		事業全体の課題・問題点	●関係機関及び関係部署と密接に連携し、的確且つ迅速な災害状況の把握を行い、農林災害での対応と共に可能な限り早期復旧が必要である。

所管課評価					
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	災害発生時において、迅速かつ適切な措置を講じ、市民の安心・安全を確保し、被害の拡大防止、施設機能の早期復旧を図るため、事業を進めていく。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 災害発生時には、迅速かつ的確な復旧を図り、被害の拡大を防止する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	075500
分野	#N/A
基本施策	#N/A
推進施策	#N/A

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
災害発生時においては、迅速かつ的確に復旧を図り、市民の安心・安全を確保する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	973511	事務事業名	公共土木施設災害復旧事業費(現年単独)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI1 ひと・もの・情報が交流する	実施計画	×
	基本施策	VI13 港湾の整備	基本方向	国際物流拠点港として、国際競争力のある物流基盤の強化に努めるとともに、市民生活の安心・安全の確保や市民が集い・憩う空間の整備を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 港湾施設の改修			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●高潮対策や耐震強化岸壁の整備等を推進し、市民の安心・安全な生活環境を確保するとともに、市民が集い、楽しめる空間づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【該当項目なし】 -%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 公共土木施設の災害復旧において、補助対象とならない復旧工事や委託等業務を実施する。	意図(どういう状態にしたい): 災害発生時において、単独災害復旧事業として、緊急対応や応急対策を的確に実施し、迅速且つ早期の復旧対応によって、市民の安心・安全を確保する。	事業の内容 (手段)	補助対象とならない公共土木施設の災害復旧を実施 ・測量設計等業務委託 ・公共土木施設災害復旧工事		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	<ul style="list-style-type: none"> ●測量設計業務委託(道路5件・河川 2件) ●道路災害復旧工事 53件 ●河川災害復旧工事 34件 					直接事業費	千円	36,713	36,713	36,713	36,713	36,713	36,713	
				(予算額)	うち一財	千円	26,713	26,713	6,713	6,713	6,713	26,713		
事業目標	目標名	発生現年度災害復旧状況	計算式	復旧箇所数/災害箇所数	単位	%	直接事業費	千円	33,457	54,068	対27年度増減理由 対28年度増減理由			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	28,057	51,368			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	正職員人件費	千円	8,424	4,289				
	実績値	100.0	100.0	100.0			人工数	人	1.15	0.58	0.78			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 41,881	決見) 58,357				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	① 単市災害復旧委託業務 (施設等整備事業)		市が管理する公共土木施設の災害箇所	公共土木施設災害復旧事業における査定設計書作成に伴う測量設計業務	市民の安心・安全の確保、被害の拡大防止、施設機能の早期復旧を図る。	測量設計業務委託 道路 5件・河川 2件		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●職員において測量・設計を行うことにより、ノウハウや技術力等を蓄積すべきであるが、短期間で査定申請書類(設計書)の作成を求められることから、外部委託に頼らざるを得ない状況である。			A	改善案							
	② 単市災害復旧工事 (施設等整備事業)		市が管理する補助災害とならない公共土木施設の災害箇所	災害発生時において、迅速かつ適切な措置を講じ、市民の安全の確保、被害の拡大防止を図る。	市民の安心・安全の確保、被害の拡大防止、施設機能の早期復旧を図る。	道路災害復旧工事 53件 河川災害復旧工事 34件		0.46		46,362	否	否	否	否
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●基本的には、可能な限り財政面でも有利な補助災害としての対応を基本方針とする中で、補助対応、又は単独対応の客観的判断を行う必要がある。 ●人的災害や二次災害を防ぐ観点から、早急且つ的確な対応判断が求められる。			A	改善案								

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	014517	事務事業名	河川総務一般事務費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【該当項目なし】 -%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 河川の適切な管理を行うとともに、地域の景観や良好な生活環境を確保するため、管理区域内における放置自動車について適正な処理を行う。	意図(どういう状態にしたい): 河川の管理区域内の放置自動車について適切な対応を実施し、河川景観や河川環境の適切な保全を図る。	事業の内容 (手段)	河川の管理区域内における放置自動車対策を実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●放置自動車に対する文書勧告、撤去						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	47	44	44	44	44
事業目標	目標名	放置自動車処理対応状況	計算式	撤去台数/確認台数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	46	43	43	43	43
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	27	33		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額)	うち一財	千円	27	32			
	実績値	100.0	100.0	0.0			正職員人件費	千円	1,685	666				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	0.0%			人工数	人	0.23	0.09	0.25			
							支出コスト	千円	決) 1,712	決見) 699				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	放置自動車対策業務 (施設管理運営事業)	河川の管理区域内に放置された自動車	河川の管理区域内の放置自動車について適正な処理を行う。	河川の管理区域内における放置自動車の発生の防止	・文書勧告 1件 ・自主撤去 0件 ・行政撤去 0件	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.09	33	0	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
								A	改善案					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
								改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
細事業の課題・問題点	平成16年3月に「周南市放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例」が施行され、河川等の管理区域内においても放置自動車対策を進めている。		
	●近年は、地域住民からの通報などにより、河川・港湾管理施設全般に放置自動車が増加傾向にある。	事業全体の課題・問題点	●放置された自動車の所有者が特定できても所在が不明な事例等もあり、撤去までに日数を要することがある。

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	巡回、通報等によって放置自動車を発見した場合には、早期対応に努め、効率的に放置自動車の早期撤去を実施していく。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 早期対応により、河川管理施設の適正管理を実施する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	089206
分野	#N/A
基本施策	#N/A
推進施策	#N/A

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
河川施設の適正な管理と河川環境保全のため、放置車両の撤去など適切な管理を実施する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391003	事務事業名	法定外公共物管理事業費(河川維持)	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【該当項目なし】 -%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 法定外公共物(水路)の保全と適正な利用を図る。	意図(どういう状態にしたい): 法定外公共物(水路)に関する管理事務や、原材料支給によって、地域に密着した法定外公共物施設(水路)の適切な財産管理と機能保全を図る。	事業の内容 (手段)	法定外公共物(水路)の管理 ・境界立会・確定業務 ・占用等の許認可業務 ・原材料支給業務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●境界立会・確定 ●占用申請等許認可 ●原材料費支給					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
							直接事業費	千円	853	866	866	866	866
事業目標	目標名	原材料支給状況	計算式	支給件数/申請件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	329	342	223	276	342
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	486	740		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	(決算額) うち一財	千円	0	221			
	実績値	8.0	8.0	7.0			正職員人件費	千円	16,408	11,019			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	87.5%			人工数	人	2.24	1.49	1.30		
							支出コスト	千円	決) 16,894	決見) 11,759			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否				
	①	境界立会・確定業務 (施設管理運営事業)	法定外公共物(水路)	隣接地所有者との境界を明確にし、行政財産の適正な管理を行う。	適正な行政財産の管理	境界立会及び確定手続 用途廃止等手続	正職員 0.87 臨時等	直接事業費 34	委託 否	臨時嘱託 否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							A	改善案					
②	占用等の許認可業務 (施設管理運営事業)	法定外公共物(水路)	法定外公共物に対する許認可等を行い、適正な財産管理と適切な機能保持を図る。	適正な行政財産の管理	占用等許可審査、加工許可審査、 占用料賦課・徴収	0.57	23	否	否				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
						A	改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	③	原材料支給業務 (施設管理運営事業)	法定外公共物(水路)	地域による法定外公共物の維持管理を支援するために、修繕等に必要原材料を支給する。	地域への原材料支給により、適切に法定外公共物の維持管理を行う。	原材料支給申請(審査)(7件) 原材料支給(7件) 完了確認検査	0.05		683	否	否			
												正職員	臨時等	直接事業費
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							A	改善案						
④														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
								改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成12年4月の国有財産特別措置法の一部改正・施行に伴い、平成17年3月までに法定外公共物を所在する市町村に譲与して、これらの財産管理、機能管理を市町村が行うこととなった。	前年度までの指摘事項	法定外公共物は地域の公共物であり、その占用等については公平適正な管理事務が必要なことから計画どおり事業を進める。	指摘事項に対する改善状況	法定外公共物の財産管理、機能管理について必要な事業費を計上している。法定外公共物は地域の公共物であり、その占用等については機能維持と適切な予防保全的な維持管理が必要であるが、業務量の増大、管
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点	●法定外公共物については、従来から地域による維持管理としているが、高齢化・過疎化や宅地化・耕作放棄地の増加などから地域による管理が困難な状況が増えつつある。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	法定外公共物は地域の公共物であり、機能維持と適切な維持管理及び公平適正な財産管理事務が必要なことから、事務事業の遂行体制を強化し、効率的・効果的な対応を実施する。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A
	法定外公共物の機能維持管理に関しては、地域環境の変化に対応する維持管理手法を検討しながら、効果的に事業を実施する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
地域環境の変化も考慮しながら、法定外公共物の効率的・効果的な維持管理を進める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391005	事務事業名	河川維持管理費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【該当項目なし】 -%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 河川流域の環境保全と安全性の向上を図り、市民に親しまれる川づくりを推進する。	意図(どういう状態にしたい): 河川管理施設の適切な管理と併せて、脆弱な護岸や土砂の堆積箇所などの、補強・補修工事、浚渫工事により、即効性のある予防保全的な維持管理を実施し、流域住民の安心・安全の確保を図る。	事業の内容 (手段)	河川の維持管理を実施 ・河川施設管理等委託業務 ・河川維持補修工事 ・河川浚渫工事		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	<ul style="list-style-type: none"> ●河川管理施設の維持管理業務委託 16件(河川公園・樋門・陸こう) ●河川清掃等業務委託 4河川 4件 ●河川維持補修工事 7河川 9件 ●河川修繕 8件 ●河川浚渫工事 9河川 11件 							直接事業費	千円	21,765	22,168	22,158	22,158	22,168
事業目標	目標名	河川清掃、維持補修・浚渫工事件数		計算式	実施件数/計画件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	20,408	20,810	20,794	20,882	20,810
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	21,576	20,431		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0		(決算額) うち一財	千円	20,218	18,635			
	実績値	21.0	25.0	25.0				正職員人件費	千円	6,226	7,691			
	達成度(%)	105.0%	125.0%	125.0%				人工数	人	0.85	1.04	1.40		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否				
	①	河川施設管理等委託業務 (施設管理運営事業)	県からの委託により、市が管理する河川管理施設	河川管理施設や河川公園の適正な管理によって機能維持及び生活環境の改善を図る。	河川施設の適正な管理を行い、浸水等被害の防止、軽減を図る。	河川管理施設の維持管理業務委託 16件(河川公園・樋門・陸こう) 河川清掃等業務委託 4河川 4件	正職員 0.28 臨時等	3,911	否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●過疎化や高齢化により、地域における河川清掃活動も衰退化しつつあり、地域からの清掃等要望は、増加している。					A	改善案						
	②	河川維持補修工事	準用河川 73河川	適正な維持管理によって、河川機能を維持し河川環境の改善を図る。	河川の脆弱な護岸や危険箇所の改修を行い、施設災害の未然防止を図る。	河川維持補修工事 7河川 9件 河川修繕 8件	0.38	7,180	否	否				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●近年多発する局地的豪雨の影響から、護岸の部分損壊や河床洗掘など補修・修繕箇所が増加している。					A	改善案							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	③	河川浚渫工事	準用河川 73河川	適正な維持管理によって、河川機能を維持し河川環境の改善を図る。	河川の流下能力の確保を貼るため、堆積土砂等の浚渫工事を行い、流下断面阻害要因の解消を図る。	河川浚渫工事 9河川 11件		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
							0.38			9,340	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●近年多発する局地的豪雨の影響などから浚渫要望は年々増加しており、浸水等被害の防止・軽減を図る上で、維持管理計画に基づいた効果的且つ積極的な実施が必要である。										A	改善案	
	④													
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他											改善案	

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	宅地化・都市化の進行が進む中、河川に関する要望は流下能力の確保、美化、清掃、堆積土除去、安全対策など多種多様化し、増加している。河川本来の機能維持を図るため、計画的な維持管理を進めるとともに、効率的な事業を推進する。	前年度までの指摘事項	護岸等の維持修繕工事や浚渫工事については、災害の予防と良好な河川機能の保持の面から中・長期的な維持管理計画を策定し事業の推進を図るとともに、施工手法やアウトソーシングについても見直し、検討を進めトータルコストの削減を図る。	指摘事項に対する改善状況	河川管理施設の適切な管理と併せて、脆弱な護岸や土砂の堆積箇所などの、補強・補修工事、浚渫工事により、即効性のある予防保全的な維持管理を実施し、流域住民の安心・安全の確保を図る。
	細事業の課題・問題点	●過疎化や高齢化、また耕作放棄地の増加や農地の減少に伴い、河川清掃など維持・監視活動も衰退化傾向にあり、地域から、清掃・維持修繕・浚渫等の要望が年々増加している。	事業全体の課題・問題点	●河川の適切な機能を保持し、浸水等被害の防止・軽減を図るため、維持管理計画に基づいた積極的維持管理を進めていく。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	河川施設の浸水等被害を防止・軽減させる上においては、河川機能の適正維持も重要であり、十分に費用対効果を検証しながら、積極的に事業を実施する。また、河川パトロール点検を充実させ、状況把握に努め、計画的で効率的な維持管理を実施する。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 浸水等被害を防止・軽減させる雨水対策として、予防保全的手法を取り入れた維持管理を展開する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
河川環境の保全及び浸水等被害の防止・軽減を図るため、浚渫・補修工事等の維持管理を積極的かつ計画的に実施する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391008	事務事業名	河川改良補助事業費(黒木川)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【河川・水路の整備】	47.30%
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。 ●準用河川については、周囲の自然や景観など地域の特色と実情に即した改修計画を策定し、計画的な整備と多自然川づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 浸水等被害から流域住民の安心安全を確保するために準用河川黒木川の河川改良工事を実施する。	意図(どういう状態にしたい): 河川改修工事の実施により、流下能力を向上し、流域における浸水等被害を軽減する。	事業の内容(手段)	準用河川黒木川の河川改良事業を実施 ・再評価資料作成委託業務 ・護岸工 L=50m(左岸) ・護岸工 L=47m(右岸)【繰越明許費】	【河川・水路の整備】 49.80%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●護岸工 L=24m(左岸) L=20.5m(右岸)【繰越】 ●護岸工 L=47m(右岸)【繰越明許費】 ●再評価資料作成業務委託						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	15,525	15,525	15,825	15,525	15,525
事業目標	目標名	河川改修率	計算式	事業費/全体計画事業費	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,525	1,525	1,825	1,525	1,525
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	7,437	15,822		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	71.3	72.5	73.8	75.5	76.8	(決算額)	うち一財	千円	592	3,887			
	実績値	71.3	72.6	74.0			正職員人件費	千円	2,710	2,810				
	達成度(%)	100.0%	100.1%	100.3%			人工数	人	0.37	0.38	0.36			
							支出コスト	千円	決) 10,147	決見) 18,632				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 再評価資料作成業務委託 (施設等整備事業)		準用河川黒木川	社会経済情勢の変化等を踏まえ、公共事業の効率化・重点化や実施課程の透明性の向上を図る。	河川改良事業の効率化・重点化や実施課程の透明性の向上。	再評価資料作成業務委託	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
	② 黒木川河川改良工事 (施設等整備事業)		準用河川黒木川	河川の流下能力を向上させることにより浸水等の被害を防止し、流域住民の安心・安全を確保する。	河川流域の浸水等被害の防止、軽減を図る。	護岸工 L=24m(左岸) L=20.5m(右岸)	0.15		3,800	否	否			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他				細事業評価								
		●計画整備区間を含む上流域では県営ほ場整備計画があることから、両事業の整備方針・計画等の調整が必要である。				B 改善案 ●計画断面の変更と見直しを行う中で、県営ほ場整備計画に関して関係機関・部署と連携・協議し、今後の河川改修計画を検討する。								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	黒木川河川改良工事 (繰越明許費) (施設等整備事業)	準用河川黒木川	河川の流下能力を向上させることにより浸水等の被害を防止し、流域住民の安心・安全を確保する。	河川流域の浸水等被害の防止、軽減を図る。	護岸工 L=47m(右岸)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							0.12		7,874	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●計画整備区間を含む上流域では県営ほ場整備計画があることから、両事業の整備方針・計画等の調整が必要である。					B	改善案	●計画断面の変更と見直しを行う中で、県営ほ場整備計画に関して関係機関・部署と連携・協議し、今後の河川改修計画を検討する。			
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成3年度に事業着手し、事業の進捗に伴い下流域の浸水被害は低減されているものの、未整備区間については近年の局地的豪雨も相まって浸水被害も発生していることから、計画区間の早期整備に向けて事業を推進している。	前年度までの指摘事項	事業に沿った整備を進めてきた結果、浸水被害の低減に結びついている。未整備区間の整備にあたっては浸水被害の防止を目的として、整備計画の見直しや施工方法等について研究、検討しながら事業の進捗を図ることとする。	指摘事項に対する改善状況	事業計画の進捗状況及び費用対効果を考慮する中で、今後の計画の見直しをして事業の進捗を図る。
	細事業の課題・問題点	●計画整備区間を含む上流域で、県営ほ場整備事業の計画があることから、早期に両事業の整備方針等調整をする必要がある。	事業全体の課題・問題点	●今後の黒木川の整備計画について、検討・決定が必要となる。 ●流域内で県営ほ場整備事業が検討されていることから、有効な河川改修計画について検討が必要となる。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	未整備区間においては、整備計画の見直しや工法検討を行い、早期の事業の進捗と効果発現を図る。	改善案	平成25年度で計画断面等の変更設計を実施したことにより、平成26年度で河川改修計画の見直しを図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 地域における治水・利水及び農業基盤整備の観点からも総合的に整備計画を検討し、事業実施を図る。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
浸水等被害を防止・軽減させるために流域における農業基盤整備計画とも調整し、事業の早期完成に向けて進捗を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391011	事務事業名	河川改良補助事業費(隅田川)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【河川・水路の整備】	47.30%
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。 ●準用河川については、周囲の自然や景観など地域の特色と実情に即した改修計画を策定し、計画的な整備と多自然川づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 雨水排水・浸水対策として、準用河川隅田川の河川改良を実施し、流域住民の安心・安全を確保する。	意図(どういう状態にしたい): 二級河川西光寺川の河川改修事業と連携・連帯して、重点的に隅田川河川改良事業を推進し、流域における浸水等被害の防止と軽減を図る。	事業の内容 (手段)	準用河川隅田川の河川改良事業を実施 ・護岸工 L=30m(左岸) ・護岸工 L=16m(左岸)【繰越明許費】	【河川・水路の整備】 49.80%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●護岸工 L=69.7m(右岸)【繰越】 ●護岸工 L=16m(左岸)【繰越明許費】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	40,051	58,050	102,750	103,950	102,750
事業目標	目標名	河川改修率	計算式	事業費/全体計画事業費	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	3,651	4,850	7,550	8,750	7,550
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	39,462	24,140		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	33.8	33.9	34.1	54.4	61.5	(決算額)	うち一財	千円	3,978	4,146	西光寺川河川改修工事の進捗に併せ、重点的に整備を進めるため。		
	実績値	36.6	39.4	47.3			正職員人件費	千円	3,443	1,775				
	達成度(%)	108.3%	116.2%	138.7%			人工数	人	0.47	0.24	0.26			
							支出コスト	千円	決) 42,905	決見) 25,915				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 隅田川河川改修工事 (施設等整備事業)		準用河川隅田川	河川の流下能力を向上させることにより浸水等被害を防止し、流域住民の安心・安全を確保する。	周辺地域の浸水等被害の防止、軽減を図る。	護岸工L=69.7m(右岸)【繰越】	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.19		11,900	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●二級河川西光寺川の河川改修工事の進捗に合わせ事業を進めて行く必要がある。				A	改善案						
② 隅田川河川改修工事 (繰越明許費) (施設等整備事業)		準用河川隅田川	河川の流下能力を向上させることにより浸水等被害を防止し、流域住民の安心・安全を確保する。	周辺地域の浸水等被害の防止、軽減を図る。	護岸工L=16m(左岸)	0.05		12,240	否	否				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●二級河川西光寺川の河川改修工事の進捗に合わせ事業を進めて行く必要がある。				A	改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	下流の二級河川西光寺川が、平成21年度の豪雨災害を契機に県内でも集中的に浸水対策としての河川整備が進められていることから、地域の浸水対策として県河川と連携・連帯して、積極的に隅田川の河川改良事業を展開する必要がある。	前年度までの指摘事項	県による西光寺川河川改修事業と連携して、計画区間の早期改修を図りたい。改修事業においては多額の事業費を要することから、補助事業の有効活用を図り、改修計画・改修工法・費用対効果など総合的なプライオリティの検討に基づき事業を継続実施していく。	指摘事項に対する改善状況	隅田川流域は浸水被害の頻度が高く、浸水被害対策が喫緊の課題となっている。平成23年度より下流の県河川西光寺川の整備が重点的に進められていることから、浸水被害の軽減を図るため西光寺川の進捗に併せて、計画的に隅田川に関しても重点的に改修を進める。
	細事業の課題・問題点	●土質の変化により、仮設工及び施工方法について検討が必要となっている。また、隣接する家屋が近接するため、影響が出ないよう考慮し、施工する必要がある。	事業全体の課題・問題点	●隅田川合流部における二級河川西光寺川の暫定改修が平成29年度に完成予定であることから、この計画に連携して隅田川改良工事を進める必要がある。 ●地域からは西光寺川及び隅田川を併せた、早期の事業効果発現と事業進捗の向上が求められている。 ●二級河川西光寺川と連携・連帯し、早期の事業効果の発現を目指す上では、相当額の年度事業費が必要となる。		

所管課評価					
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	西光寺川・隅田川流域は、浸水等被害の常襲区域であることから、地域における雨水排水・浸水対策として積極的に当事業を展開し、浸水等被害の防止と軽減を図り、流域住民の安心・安全を確保する。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 地域の雨水排水・浸水対策として、関係部署や県と連携し、早期事業効果の発現を図る。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
流域で常襲化している浸水等被害を防止・軽減するため、県の西光寺川広域河川改修と連携して、重点的に事業を進める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391022	事務事業名	苔谷川河川改修事業費(繰越明許費)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【河川・水路の整備】	47.30%
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。 ●準用河川については、周囲の自然や景観など地域の特色と実情に即した改修計画を策定し、計画的な整備と多自然川づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 国道2号拡幅に関連して、準用河川苔谷川の改修を実施するものである。	意図(どういう状態にしたい): 国道2号に係る付替え部分を含め、全体で約1,000mの改修により、流域における浸水被害の防止、軽減が図られるとともに、良好な生活環境を確保する。	事業の内容(手段)	準用河川苔谷川の河川改良事業を実施 ・護岸工 L=83.7m(右岸L=32.8m、左岸L=50.9m)	【河川・水路の整備】	49.80%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●護岸工 L=32.8m(右岸)、L=50.9m(左岸) 【繰越明許費】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	45,000	14,225		
事業目標	目標名	河川改修率	計算式	事業費/全体事業費	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	2,300	725			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	25,973	14,122		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	81.1	100.0	100.0	—	—	(決算額)	うち一財	千円	3,573	722			
	実績値	81.1	91.5	100.0			正職員人件費	千円	1,612	444				
	達成度(%)	100.0%	91.5%	100.0%			人工数	人	0.22	0.06				
							支出コスト	千円	決) 27,585	決見) 14,566				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	苔谷川河川改修工事(繰越明許費) (施設等整備事業)	準用河川苔谷川	河川の流下能力を向上させることにより浸水等被害を防止し、流域住民の安心・安全を確保する。	流域において浸水等被害の防止、軽減を図る。	・河川改修工事 護岸工 L=32.8m(右岸)、L=50.9m(左岸)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価						
		細事業の課題						A	改善案					
	②													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	細事業の課題							改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	国道2号の戸田拡幅工事に関する事業で平成18年度より事業着手している。 事業実施に当たっては国土交通省、地元関係者と連携を図りながら有効的・効果的な事業を推進している。	前年度までの指摘事項	国土交通省及び地元関係者と密接な連携を保ちながら、効果的な河川改修事業を進めていく。今後の事業展開については、改修計画、改修工法・費用対効果など総合的なプライオリティの検討に基づき事業を継続実施していく。	指摘事項に対する改善状況	全体事業計画に基づき、平成26年度で完成。
	細事業の課題・問題点	残事業区間の施工について地元との協議・調整を図りながら事業を進める必要がある。	事業全体の課題・問題点	残事業区間の施工計画等に関して、地元との協議・調整を図りながら事業を進める。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	国土交通省及び地元関係者と密接に連携を図りながら、効果的な河川改修事業を進めていく。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 事業完了年度として、国土交通省や地域と協議を行い、効果的な事業完了を目指す。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成26年度で事業完了。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391090	事務事業名	地域の元気臨時交付金事業費(河川改良事業)	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【河川・水路の整備】	47.30%
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。 ●準用河川については、周囲の自然や景観など地域の特色と実情に即した改修計画を策定し、計画的な整備と多自然川づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	【河川・水路の整備】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 雨水排水・浸水対策として、河川改良を実施し、流域住民の安心・安全を確保する。	意図(どういう状態にしたい): 断面の狭小部分や護岸高の不足などによって、流水機能の低下や浸水等被害が発生している河川について、局部的な河川改良工事の実施により、河川機能を強化し浸水等被害の防止と軽減を図る。	事業の内容 (手段)	局部的な河川改修や施設改修を実施 ・隅田川河川改良 護岸工 L=32m(左岸) ・黒木川河川改良 護岸工 L=40m(右岸)、嵩上げ工 L=100m(左岸) ・新引川河川改良 護岸工 L=121m ・本陣川河川公園改修 施設改修 L=65m		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・隅田川 護岸工 L=25.1m(左岸) ・黒木川 護岸工 L=72.7m(右岸)、L=109.5m(左岸) ・新引川 護岸工 L=53.1m(右岸)、L=57.4m(左岸) ・本陣川 石組工 25t、照明灯設置工 5基						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	24,799	91,000										
事業目標	目標名	整備箇所数	計算式	実施箇所数/計画箇所数	単位	箇所	(予算額)	うち一財	千円	8,799	13,700			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	41,069	70,038		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	2.0	4.0	—	—	(決算額)	うち一財	千円	13,969	12,438			
	実績値	—	2.0	4.0			正職員人件費	千円	806	4,881				
	達成度(%)		100.0%	100.0%			人工数	人	0.11	0.66				
							支出コスト	千円	決) 41,875	決見) 74,919				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	準用河川隅田川河川改修工事 (施設等整備事業)	準用河川隅田川	河川の流下能力を向上させることにより浸水等被害を防止し、流域住民の安心・安全を確保する。	周辺地域の浸水等被害の防止、軽減を図る。	護岸工 L=25.1m(左岸)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●二級河川西光寺川の河川改修工事の進捗に合わせ事業を進めて行く必要がある。					細事業評価							
		A	改善案											
②	黒木川河川改良工事 (施設等整備事業)	準用河川黒木川	河川の流下能力を向上させることにより浸水等の被害を防止し、流域住民の安心・安全を確保する。	河川流域の浸水等被害の防止、軽減を図る。	護岸工 L=72.7m(右岸) L=109.5m(左岸)	0.25		15,296	否	否				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●計画整備区間を含む上流域では県営ほ場整備計画があることから、両事業の整備方針・計画等の調整が必要である。					細事業評価								
	B	改善案	●計画断面の変更と見直しを行う中で、県営ほ場整備計画に関して関係機関・部署と連携・協議し、今後の河川改修計画を検討する。											

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
③	新引川河川改良工事 (施設等整備事業)		新引川	河川の流下能力を向上させることにより浸水等被害を防止し、流域住民の安心安全を確保する。	河川流域の浸水等被害の防止・軽減を図る。	護岸工 L=53.1m(右岸) L=57.4m(左岸)	0.07		13,995	否	否		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●最近の集中豪雨により浸水等被害が頻繁に発生していることから、早期の河川改良が望まれている。						細事業評価						
	細事業の課題		A						改善案				
④	本陣川河川公園改良工事 (施設等整備事業)		本陣川河川公園	親子で水と親しめる空間を造りより良い河川公園にするために老朽化した施設を整備する。	親子で安心して水と親しめる空間を造り、より良い河川公園にする。	石組工 25t 照明灯設置工 5基	0.17		4,644	否	否		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	細事業の課題		A						改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	最近の集中豪雨等により、河川の越水に伴う浸水被害が増えていることから、河川改良の要望が増えている。		
	●多発している局地的豪雨等による家屋への浸水被害対策として、早期対策で河川改良の要望が増えている。	事業全体の課題・問題点	●最近の集中豪雨により浸水被害が頻繁に起きることから、河川改良の要望が増えており、県河川や下水道の整備計画と連携・連帯して効果的な整備をしていく必要がある。

所管課評価			
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由 地域の雨水排水・浸水対策として積極的に河川改良事業を展開し、浸水等被害と軽減を図り、地域住民の安心・安全を確保する。 改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 整備計画と効果を踏まえながら、費用対効果、実施事業など検討して、河川改良を実施していく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
地域の元気臨時交付金事業は平成26年度をもって終了。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391093	事務事業名	がんばる地域交付金事業費(河川改良事業)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【河川・水路の整備】	47.30%
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。 ●準用河川については、周囲の自然や景観など地域の特色と実情に即した改修計画を策定し、計画的な整備と多自然川づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 雨水排水・浸水対策として、河川改良を実施し、流域住民の安心・安全を確保する。	意図(どういう状態にしたい): 断面の狭小部分や護岸高の不足などによって、流水機能の低下や浸水等被害が発生している河川について、局部的な河川改良工事の実施により、河川機能を強化し浸水等被害の防止と軽減を図る。	事業の内容 (手段)	局部的な河川改修や施設改修を実施(新引川河川改良)	【河川・水路の整備】	49.80%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●河川改良工事 ・新引川 護岸工 L=104.5m(右岸)、L=116.8m(左岸) ●測量設計業務委託						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円												
事業目標	目標名	整備箇所数	計算式	実施箇所数/計画箇所数	単位	箇所	(予算額)	うち一財	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		28,147		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	1.0	—	—	(決算額)	うち一財	千円		7,147			
	実績値	—	—	1.0			正職員人件費	千円			518			
	達成度(%)			100.0%			人工数	人			0.07			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	新引川河川改良工事 (施設等整備事業)	新引川	河川の流下能力を向上させることにより浸水等被害を防止し、流域住民の安心安全を確保する。	河川流域の浸水等被害の防止・軽減を図る。	・護岸工 L=104.5m(右岸)、L=116.8m(左岸) ・測量設計業務委託	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●最近の集中豪雨により浸水等被害が頻繁に発生していることから、早期の河川改良が望まれている。					A	改善案						
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
細事業の課題							改善案						
④													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	最近の集中豪雨等により、河川の越水に伴う浸水被害が増えていることから、河川改良の要望が増えている。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	●多発している局地的豪雨等による家屋への浸水被害対策として、早期対策で河川改良の要望が増えている。	事業全体の課題・問題点	●最近の集中豪雨により浸水被害が頻繁に起きることから、河川改良の要望が増えており、効果的な整備をしていく必要がある。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	地域の雨水排水・浸水対策として積極的に河川改良事業を展開し、浸水等被害と軽減を図り、地域住民の安心・安全を確保する。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 整備計画と効果を踏まえながら、費用対効果、実施事業など検討して、河川改良を実施していく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
がんばる地域交付金事業は平成26年度をもって終了。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391017	事務事業名	排水路維持管理費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【河川・水路の整備】	47.30%
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。			25年度市民評価の満足度	
		【河川・水路の整備】	49.80%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 雨水の適正排除や排水機場の適切な運転管理により、排水路の氾濫防止に努め、地域住民の安全の確保を図る。	意図(どういう状態にしたい): 排水施設の適切な保守管理と併せて、豪雨高潮時の緊急対応業務や、排水路の補修・浚渫工事によって、適切な雨水排除を行い、地域における雨水対策の充実と安心・安全を確保する。	事業の内容 (手段)	排水路の維持管理を実施 ・排水施設等委託業務 ・排水路補修工事 ・排水路浚渫工事		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●排水施設保守管理委託(排水機場7機場) ●排水路浚渫工事 7件 ●排水路補修工事 10件 ●排水路清掃等業務委託 15件 ●排水路修繕 10件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	42,583	49,703	45,258	45,412		45,000						
事業目標	目標名	排水路浚渫・維持工事実施水路数	計算式	実施件数/計画件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	40,487	47,547	43,102	43,256	42,750
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	42,183	44,666	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	(決算額)	うち一財	千円	40,087	42,509			
	実績値	21.0	17.0	17.0			正職員人件費	千円	8,790	8,726				
	達成度(%)	84.0%	68.0%	68.0%			人工数	人	1.20	1.18	1.79			
							支出コスト	千円	決) 50,973	決見) 53,392				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	排水路施設等委託業務 (施設管理運営事業)	●県から委託を受けた排水施設の保守管理 ●市が管理する排水路施設	大雨時の排水機場の適切な運転による河川の氾濫防止及び排水路の適正な管理による機能保持。	排水路施設の適切な維持管理を行い、浸水等被害の防止・軽減を図り、地域住民の安心・安全を確保する。	排水路保守管理(排水機場7機場) 排水路清掃業務委託 15件	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	細事業の課題	●保守管理する排水機場には、設置後約40年程度経過した施設もあり、全般的に機器の故障や不具合の発生頻度が年々増加している。 ●都市化の進行などによって、地域における共同作業なども衰退化しつつあり、排水路の清掃や維持管理全般に関して多様な要望が増加している。						A	改善案					
②	排水路補修工事 (施設管理運営事業)	市が管理する排水路	排水路の適正な管理によって機能維持及び生活環境の改善を図る。	排機能の確保をするため、脆弱箇所 の補修や堆積土砂の浚渫を行い、 流下断面阻害要因の解消を図る。	排水路浚渫工事 7件 排水路補修工事 10件 排水路修繕 10件	0.9		15,526	否	否				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価								
細事業の課題	●都市化の進行などによって、地域における共同作業なども衰退化しつつあり、近年多発する局地的豪雨排水の影響もあって、特に浚渫要望は増加している。						A	改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④		細事業評価		改善案					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	宅地化・都市化の進行が進む中、排水路に関する要望は溢水対策、清掃、堆積土除去、安全対策など多種多様化し、増加している。排水路の機能維持を図るため、予防保全的な計画的な維持管理を進めるとともに、効率的・効率的な事業を推進する。	前年度までの指摘事項	清掃・浚渫等に関しては、地域住民との協働なども視野に入れ、維持管理計画の策定を進め、効率的な事業を実施するための手法について研究・検討をすることとしており、様々な面から見直しを行いながら実施する。	指摘事項に対する改善状況	排水路の機能保持と併せて、脆弱な護岸や土砂の堆積箇所などの、補強・補修工事、浚渫工事により、即効性のある予防保全的な維持管理を実施し、流域住民の安心・安全を図る。
	細事業の課題・問題点	●都市化や宅地化などによる状況変化や過疎化・高齢化の進行、近年多発する局地的豪雨など様々な要因から、排水路に関する清掃・補修・浚渫など維持管理全般に関して、地域からの要望は多様化しつつあり、また年々増加している。	事業全体の課題・問題点	●環境の変化や雨水排水・浸水対策として、地域に密接した排水路の維持管理の重要性は今後さらに増加し、計画的且つ、予防保全型の維持管理を進める中で、適正事業費の確保が必要と考えられる。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	排水路の清掃・浚渫については、地域住民の協力を得ながら状況把握に努めて、事業を進めていく。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 雨水対策の観点から予防保全的な維持管理を進め、地域住民とも協同し効果的・効率的な事業を実施する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
雨水対策や浸水等被害の防止・軽減を図るため、浚渫・補修工事等の維持管理を積極的に実施する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391020	事務事業名	排水路改良事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【河川・水路の整備】	47.30%
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【河川・水路の整備】	49.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 降雨時における宅地等への浸水災害を防止するため雨水の適正排除を行うとともに、水質汚濁や悪臭の防止を図るため排水路の改良工事を実施する。	意図(どういう状態にしたい): 排水路改良による適正な雨水排除により、浸水等被害の防止と良好な生活環境を確保する。	事業の内容 (手段)	排水路改良による雨水対策を実施 ・樋口地区測量設計委託 L=120m		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●測量設計業務委託(排水路) ・樋口地区(平面測量・路線測量・排水路詳細設計)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円		1,000	20,000	29,387	12,000
事業目標	目標名	整備箇所数	計算式	実施箇所数/計画箇所数	単位	箇所	(予算額) うち一財	千円		1,000	5,000	7,387	3,000	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		994		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	2.0	—	1.0	2.0	2.0	(決算額) うち一財	千円		994		実施計画により事業を進めるため		
	実績値	3.0	—	1.0			正職員人件費	千円		148				
	達成度(%)	150.0%		100.0%			人工数	人		0.02	0.14			
						支出コスト	千円		決) 0	決見) 1,142				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数				委託等の可否			
	①	測量設計業務委託	市が管理する排水路整備	改良事業における設計書作成に伴う測量設計	樋口地区の浸水等被害の防止・軽減を図る。	樋口地区の排水路測量設計業務委託	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02		994	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
								改善案						
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
							改善案					
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	宅地化の進行や局地的な豪雨による排水機能の拡充・整備など排水路改良は地域の治水上での課題であるとともに、改良要望・必要性も増している状況にある。事業実施に当たっては、緊急性を主とした優先順位により効果的な事業を推進する。	前年度までの指摘事項	法定外公共物(水路)も用水から排水機能中心へと移行しつつあり、排水路としての改良要望も連動して増加傾向にある。今後の事業展開については、関係部署との調整、整備要綱の検討のほか、総合的なプライオリティの検討に基づき事業を実施していく。	指摘事項に対する改善状況	浸水被害の防止や生活環境の改善のため、緊急性や必要性の観点に基づき計画的かつ重点的に事業を進めていき、早期効果の発現を目指す。
	細事業の課題・問題点	多発する局地的豪雨や宅地化の進展により地域の排水環境は変化し、貯水能力も低下したことで排水路への負担は大きくなり、排水路改良の重要性とともに早期整備が急務となっている。	事業全体の課題・問題点	雨水対策と浸水等被害の防止・軽減においては、効果的な整備を進める必要がある。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由		改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 豪雨や浸水被害が多発している地区について、改良計画に基づき効率的な整備を推進する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
排水路改良計画に基づき、改良工事等の雨水・浸水対策を積極的に実施する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	391091	事務事業名	地域の元気臨時交付金事業費(排水路改良事業)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【河川・水路の整備】	47.30%
	推進施策の展開	●浸水被害を未然に防止するため、河川の計画的で効率的な維持管理と整備に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 降雨時における宅地等への浸水災害を防止するため雨水の適正排除を行うとともに、水質汚濁や悪臭の防止を図るため排水路の改良工事を実施する。	意図(どういう状態にしたい): 多発する豪雨や宅地化の進行によって、断面狭小による排水不良や流下機能の低下している排水路について、排水路改良による適正な雨水排除を行うことにより、浸水等被害の防止と良好な生活環境を確保する。	事業の内容(手段)	排水路改良による雨水・浸水対策を実施(西坂本地区 L=53m、須々万地区 L=100m)	【河川・水路の整備】	49.80%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●排水路改良工事 ・須々万地区 L=101m(右岸)、L=80m(左岸) ・西坂本地区 L=53m						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	10,000	32,900										
事業目標	目標名	整備箇所数	計算式	実施箇所数/計画箇所数	単位	箇所	(予算額)	うち一財	千円	6,500	5,000			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	20,440	23,232		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	2.0	2.0	—	—	(決算額)	うち一財	千円	4,740	4,632			
	実績値	—	2.0	2.0			正職員人件費	千円	1,978	2,514				
	達成度(%)		100.0%	100.0%			人工数	人	0.27	0.34				
							支出コスト	千円	決) 22,418	決見) 25,746				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	須々万地区排水路改良工事 (施設等整備事業)	須々万地区排水路	排水路の改良事業を実施し、雨水の適切な排除を図り、良好な生活環境を確保する。	雨水の適切排除と水質汚濁や悪臭防止による生活環境の改善を図る。	須々万地区 L=101m(右岸) L=80m(左岸)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価						
						A	改善案							
②	西坂本地区排水路改良工事 (施設等整備事業)	西坂本地区排水路	浸水被害の防止及び軽減・悪臭の低減・水質改善を行い、良好な生活環境を確保する。	雨水の適切排除と水質汚濁や悪臭防止による生活環境の改善を図る。	西坂本地区 L=53m	0.17		7,564	否	否				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ●雨水整備が遅れている区域において、開発等により農地が減少し、宅地化が進んだことにより、豪雨による浸水被害が多発している。						細事業評価							
					A	改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題					改善案							
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題					改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	宅地化の進行や局地的豪雨による排水機能の拡充・整備など排水路改良は地域の治水上での課題であるとともに、改良要望・必要性も増している状況にある。 事業実施に当たっては、緊急性を主とした優先順位により効果的な事業を推進する。	前年度までの指摘事項	法定外公共物(水路)も用水から排水機能中心へと移行しつつあり、排水路としての改良要望も連動して増加傾向にある。 今後の事業展開については、関係部署との調整、整備要綱の検討のほか、総合的なプライオリティの検討に基づき事業を実施していく。	指摘事項に対する改善状況	浸水被害の防止や生活環境の改善のため、緊急性や必要性の観点に基づき計画的且つ重点的に事業を進めていき、早期効果の発現を目指す。
	細事業の課題・問題点	●多発する局地的豪雨や宅地化の進展により、地域の排水環境は変化し貯水能力も低下したことで排水路への負担は大きくなり、排水路改良の重要性とともに早期整備が急務となっている。	事業全体の課題・問題点	●雨水対策と浸水等被害の防止・軽減においては、排水路改良の要望が増えており、効果的整備を進める必要がある。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	環境の変化や最近の局地的豪雨等により、排水路の機能強化要望が増えている状況である。 要望に対しては、関係部署と調整して、総合的に勘案し、緊急性や必要性の観点から排水路改良計画に基づき事業を推進していく。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 豪雨や浸水被害は多発している地区について、改良計画に基づき効率的な整備を推進する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
地域の元氣臨時交付金事業は平成26年度をもって終了。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	建設部・河川港湾課	評価者 (課長)	中田 和彦	評価責任者 (部長)	足達 正男
事務事業コード	631042	事務事業名	砂防・急傾斜地対策事業費	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI24 河川・水辺空間の整備	基本方向	河川の効率的で効果的な整備、保全を図るとともに、快適な水辺空間の創出に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)河川・水辺の保全・整備			【該当項目なし】 -%	
	推進施策の展開	●山口県が管理する河川については、地域的な治水対策として適切な維持管理と河川改修計画の円滑な推進を要請します。			25年度市民評価の満足度	
	【該当項目なし】 -%					
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業の実施によって、土砂災害から住民の生命・財産を守り、万が一の災害時には、被害を最小限に防止する。	意図(どういう状態にしたい): 土砂災害防止事業の進捗を図ることによって、土砂災害から対象地区内の住民の安心・安全を確保する。	事業の内容 (手段)	山口県が施工する砂防や急傾斜事業に係る一部負担を実施 ・急傾斜事業:大島居守、水上、安田上、政所 ・砂防事業:河原畑川地区		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	●山口県が施工する砂防や急傾斜事業に係る事業費の一部負担 ・急傾斜事業:水上、大島居守、安田上 ・砂防事業:河原畑川、小深川						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	17,296	14,200	8,850	13,250
事業目標	目標名	事業実施箇所数	計算式	実施箇所数/実施計画数	単位	箇所	(予算額)	うち一財	千円	1,296	1,100	563	1,125	600
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	10,061	13,847		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	(決算額)	うち一財	千円	801	1,157	県事業の計画による。		
	実績値	6.0	7.0	5.0			正職員人件費	千円	1,319	887				
	達成度(%)	120.0%	140.0%	100.0%			人工数	人	0.18	0.12	0.22			
							支出コスト	千円	決) 11,380	決見) 14,734				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 急傾斜地事業負担金 (施設等整備事業)		山口県が実施する急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊対策事業の進捗を図り、土砂災害から対象地区内の住民の安心・安全を確保する	急傾斜地の崩壊や自然災害発生を未然に防止するとともに、万が一の災害時には被害を最小限に止める。	・急傾斜地崩壊対策事業 水上・大島居守 ・自然災害防止事業 安田上	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他		細事業評価									
	細事業の課題		●事業実施の準備段階である事業範囲の決定や負担金・事業用地の確保・同意など、地元(地域内)の合意形成に相当期間を要している。											
② 砂防事業負担金 (施設等整備事業)		山口県が実施する砂防事業	砂防事業の進捗を図り、土砂災害から対象地区内の住民の安心・安全を確保する	土砂災害を未然に防止するとともに、万が一の災害時には被害を最小限に止める。	・自然災害防止事業(砂防) 河原畑地区・小深川	0.06		1,473	否	否				
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他		細事業評価										
細事業の課題		●市内には相当数の土砂災害危険箇所(土石流)が存在することから、早期な土砂災害防止対策が求められている。												
				A		改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	県が事業主体として実施する砂防関係事業に対する負担金である。急傾斜地崩壊対策事業と自然災害防止対策事業からなり、事業実施に向けた合意形成の支援と事業の推進を図るため、平成23年度に受益者の負担金を補助残の5%に改正した。	前年度までの指摘事項	地域住民の安心・安全の確保に必要な不可欠な事業であり、今後も県や地元関係者と連携実施していく。	指摘事項に対する改善状況	土砂災害から地域住民の安心・安全を確保するため、県との協議・調整を進め事業費の確保に努める。一方、当該事業は地域住民の合意・調整を図り事業を推進する。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点	●地域からの要望に関しては、県と連携して現地確認や地元説明など積極的に対応を行っているが、地域内における推進体制や合意形成(事業範囲決定・負担金及び事業用地抛出の同意等)に相当期間を要するケースが多い。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	土砂災害から地域住民の生命・財産を守る必要不可欠な事業であり、今後も県や地元関係者と密接に連携して積極的に事業を展開していく。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 土砂災害防止法に基づく区域指定も完了したことから、県や地域と密接に連携して、積極的に事業を進める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400103
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(3)河川等の整備・保全の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
土砂災害から地域住民の安心・安全を確保するため、県・地元住民と密接に連携して、積極的に事業実施を進める。

備考